



体験を通してどのようなことが勉強になったか？

私は、建設では再確認をすることや人と関わることが大切であるということを学びました。建物は少しでもずれていると、後に大きく歪んでしまい、見た目も住み心地も悪くなってしまうそうです。また、耐久性などに問題が生じてしまうので、再確認は地味な作業だけどとても大切だとおっしゃっていました。建物はたくさんの人たちと一緒に作っていくもので、一つの建物に何十人もの人たちが関わって、建てられています。だから、人との関わりや信頼関係がとても大切だと思いました。

その企業を選んだ理由は何か？

私は建物を見るのが好きです。自分の家の周りに建っている新しい家や古い家が、どのように建てられたのか気になっていました。将来、私は建築について学び、図面を描き、家を建てたいという夢があります。そこで建築業を選びました。

どのような体験をしたか？

3つの現場を見学しました。建物がほとんどできている現場やまだ初期段階の現場があり、それぞれで違う作業をしていました。職場の方に、工夫しているところやどのように建てたのか、写真や図面を使って説明していただきました。また、現場では、鍵が閉まるかの確認や鉄筋を組んだり、柱の印をつけたりする作業をさせていただきました。

職場体験学習を終えての感想

私は様々な作業を通して、いろいろなことを学ぶことができました。初めての作業ばかりでしたが、とても楽しかったです。そして、仕事の大変さや働いている方々の仕事に対する思いを知ることができました。担当の方や現場の方が優しく教えてくださり、充実した体験になりました。建物が少しずつできていくところや多くの作業を見学して私は感動しました。建設のことも思いやりの大切さもいろいろなことを学びました。

